

中部環境計量士会だより

2019年12月25日発行

第25号



東海自然歩道足和田山（富士河口湖町）から見た河口湖

2016年2月撮影（田中会員提供）

目次

- 1 最近実施した行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 今後の行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 愛知県「水質事故未然防止説明会」開催の紹介・・・・・・・・ 2
- 4 最近の環境関係法令等の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 5 会員だより
 - ・トークセッション紹介
 - 「水環境と災害～多発する自然災害と地下水の関わりを考える～」・・ 3
 - ・話題提供 「なんとか登った日本百名山 5」・・・・・・・・・・ 4

1 最近実施した行事

【見学会】 (参加者 12名)

日時：2019年9月4日（水） 11時45分～17時00分

場所：内藤記念くすり博物館、 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



内藤記念くすり博物館 園内



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 館内

2 今後の行事予定

【勉強会と懇親会】

日時：2020年2月15日（土） 勉強会：14時～17時、懇親会：17時～

場所：大同特殊鋼(株) 健保会館 名古屋市熱田区神宮2-3-30

TEL 052-671-1186 https://www.daidokenpo.jp/health_index/resort#cnt01

アクセス：名鉄名古屋本線「神宮前」下車、熱田神宮東門から南へ徒歩7分

内容：

- (1) 二酸化炭素の削減の実験講座（環境教育の一環として）（新谷会員）
- (2) 各務原市の硝酸性窒素による地下水汚染（山田会員）

★ 勉強会の後、恒例の懇親会が予定されています。多数のご参加をお待ちしています。

3 愛知県「水質事故未然防止説明会」開催の紹介

愛知県環境部水大気環境課より「水質事故未然防止対策説明会」開催の案内がありました。

日時：2020年1月27日（月） 14時～16時

場所：愛知県三の丸庁舎8階 大会議室 名古屋市中区三の丸2-6-1

内容：

- (1) 愛知県内における水質事故の概要及び未然防止に必要な対策について
- (2) 県内事業場における取組事例について

(トヨタ自動車株式会社 プラント・環境生技部 生産環境室 グループ長)

主 催：愛知県環境局

詳しい情報は、愛知県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2019-jikosetumeikai.html>

4 最近の環境関係法令等の動き

- 公共用水域水質環境基準、地下水環境基準、土壤環境基準及び排水基準等に係る告示の一部を改正する告示の公布

(平成31年3月20日環境省報道発表資料)

日本工業規格 (JIS) K0102の改正に伴い、公共用水域水質環境基準、地下水環境基準、土壤環境基準及び排水基準等に係る告示で、主に測定方法について改正する。

対象項目は、ふっ素 (ふっ素及びその化合物)、アルキル水銀 (アルキル水銀化合物)、全シアン (シアン化合物)、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物、硝酸化合物、全窒素、全りん、フェノール類、六価クロム (六価クロム化合物)

関連資料：<http://www.env.go.jp/press/files/jp/110992.pdf>

- 産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法 (昭和48年2月環境庁告示第13号) の一部を改正する告示等の公布

(令和元年10月7日環境省報道発表資料)

1. 産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法 (昭和48年2月環境庁告示第13号) について

日本工業規格 (JIS) K0102の改正に伴い、検液の作成や検定方法の見直しを行った。

対象項目は、アルキル水銀化合物、カドミウム・鉛・銅・亜鉛・ニッケルならびにそれらの化合物、六価クロム化合物、ひ素又はその化合物、有機塩素化合物、ふっ化物、フェノール類。

適用日は令和元年12月1日。

2. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第六条第一項第三号イ(6)に掲げる安定型産業廃棄物として環境大臣が指定する産業廃棄物 (平成18年7月環境省告示第105号) について別表中ほう素又はその化合物に係る検定方法について見直しを行った。

関連ホームページ：<http://www.env.go.jp/press/107250.html>

5 会員たより

- トークセッション紹介

「水環境と災害」～多発する自然災害と地下水の関わりを考える～

山田雅英会員

2020年1月25日（土）にNPO法人地中熱&地下水資源活用NET（NUGG）が開催する第8回トークセッション「水環境と災害」を紹介します。

今年は、日本各地で自然災害が発生しました。第8回トークセッションのメインテーマは国内各地で頻発している自然災害です。水環境、特に地下水が地震、火山噴火、地盤沈下、山崩れ、河川氾濫などにどのように関わっているか、専門家に講演いただきます。講演の後半では参加者を交え意見交換を行う予定です。

テーマ1：水環境、特に地下水と災害（濃尾臨海低平地の地盤環境問題）

テーマ2：水環境と火山・活断層（琵琶湖西岸の地下水・河川水と活断層および御嶽山噴火前後の地下水変化）

詳しい情報は、NUGGのホームページをご覧ください。 <https://www.nugg.jp>

○ 話題提供

『 何とか登った日本百名山 5 』

田中義身会員

百名山の多くは本州中部から東にあり、北、中央、南の日本アルプスで31山を占めています。九州は6山ありますが、四国は2山、中国地方は大山だけ、近畿は3山しかありません。西に住んでいる人には百名山踏破は大変だと思います。

岐阜県では日本で標高3位の奥穂高岳はじめ10山が、三重県では大台ヶ原山が百名山に入っていますが、愛知県に日本百名山はありません。千葉、香川、山口、沖縄の各県とともに日本三百名山に入る山もありません。名古屋からは60御岳、76恵那山、87白山、89伊吹山の4つの百名山を眺めることができます。ただ、私自身は白山を名古屋から見た記憶はありません。これらの4山の記録を紹介します。古い写真なので変色しています。

60 御岳 (3063m) 1979年8月 長男と

小学生だった長男を連れて登った1979年夏には御岳は死火山とされていたのですが、その年の秋に水蒸気爆発を起しました。その後も火山活動が続き、2014年にはご存知の通りの被害が出てしまいました。

神社となっていた山頂の写真を載せましたが、今はどうなっているのでしょうか。



当時はまだ飛騨小坂駅から麓の濁河温泉までバスが出ており、これを利用して登りました。

[行程]

第1日：高山線飛騨小坂駅→バスで濁河温泉→飛騨道→飛騨頂上（五の池小屋泊）

第2日：五の池小屋→御岳頂上（剣ヶ峰）→王滝道→バスで木曾福島駅



王滝道から見る御岳山頂



御岳山頂

7 6 恵那山 (2191m) 1980年8月 長男と

頂上がどこなのかはっきりしない山頂部がなだらかな山です。百名山ブームの前で、案内書に載っていた山の家は無くなっており、山頂避難小屋は入れないほど汚れていました。富士見台近くの無人の古い小屋（萬岳荘）に泊まったのですが、周りは放牧の牛の糞だらけ、夜中には、掛けた毛布の上を鼠が走っていました（萬岳荘は今は立派な山荘に建て替えられています）。



下山時に長男が足にマメを作ってしまったのですが、通りかかった車に乗せてもらい助かりました。

[行程]

第1日：中津川駅→タクシーで黒井沢登山口→恵那山頂上→神坂峠→萬岳荘（泊）

第2日：萬岳荘→富士見台→神坂峠→途中で車に拾ってもらい落合川駅へ



富士見台から恵那山



富士見台から南アルプス



泊まった萬岳荘

8 7 白山 (2702m) 1972年8月 勤務先の同僚と

名古屋から車で麓の白水湖まで行き、そこから登りました。5人グループでテント持参でした。少し早いペースで登り、バテ気味だったように記憶しています。山頂付近にはきれいな火口湖がいくつかあります。

[行程]

第1日：名古屋から白水湖までマイカー、白水湖→平瀬道→テント泊

第2日：頂上→往路を下山





御前峰(最高峰)



テント地



山頂付近からの別山

89 伊吹山 (1377m) 1997年10月5日 (日) 単独登山

三番目に低い百名山です。当時はまだロープウェイが動いていて、それを使うと2時間ほどで登れたようです。五合目あたりから上には高い木は無く、ドライブウェイが通じており、山頂付近は土産物店、飲食店のある観光地です。



[行程]

近江長岡駅→バスで伊吹山登山口→伊吹山頂上→往路を下山→徒歩で近江長岡駅へ



伊吹山登山口



五合目



山頂を望む

《 編集担当よりお願い 》

会誌「緑野」や「たより」への投稿、ご意見・要望等をお寄せください。

(特に「たより」の表紙の写真の投稿をお待ちしています。)

会員相互の連絡や意見交換にもご利用ください。